

◇澁谷俊二君

○議長（伊藤福章君） 次に、14番澁谷俊二君登壇願います。

（14番 澁谷俊二君 登壇）

○14番（澁谷俊二君） 本定例会最後の質問者というよりも、平成17年最後の一般質問者と、こういうことでございます。

また、朝から9人目でございますが、昼食を挟みながらやってまいりましたけれども、町長初め管理職の皆様方にはかなりの疲労の色が見えるようでございます。肩の力を抜きながら深呼吸してゆっくりと余り時間をとらないで質問しますので、よろしくお願ひしたいと思います。さて、美郷町が誕生してから早1年が過ぎました。今では、この地名が自然の流れのように、私の中に浸透しつつあるわけでございます。がしかしながら、その反面、40数年慣れ親しんできました旧仙南村の面影がだんだんと薄れていくようなことに一抹の寂しさを感じるところでございます。

さて、この1年、それという意味でもございませぬけれども、私も町内を駆け回り、多くの方々と接しながら新町への思いや期待、あるいは要望、困りごとなどいろいろと地域の現状を見聞きすることができました。これからのまちづくりに大いに参考になろうかと、このように思っております。

さて、それでは、本題に入らせていただきますけれども、通告に書きました羽貫谷地簡易水道は昭和58年には給水が開始されたと、こう聞いております。しかし、いつのころからか私もちょっとわかりませぬけれども、今現在ではかなりの汚濁が激しく、飲料水はおろか生活用水としてもためらいを感じておると、こういう状態でございます。

このような状況、状態でありますので、地域の方々は地下水を汲み上げ、自家水道として使用しておるようでございます。町でもこのようなことを考慮しながら、新たな水源を求めるために今年度調査費を予算計上したわけでございます。そして、2カ所試掘調査したわけでございますが、実はこの通告書を提出する時点では、まだその結果が出ておらないと、こういうことございましたので、結果について伺いたいと記しておりました。しかしながら、その後、調査結果がわかりましたので、この点についての答弁は結構です。

しかしながら、もし、町長が公表の必要を認めるのであれば、その限りではございませぬので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

この報告を受けまして、私のみならず地域住民はもちろんですけれども、大変大きな期待をかけておったわけですが、いかんせん残念なことに飲料水、あるいは生活用水には適さないと結果をいただきました。本当に残念でございます。人間生きていく上で、水は本当に欠かせないものでございます。この調査を踏まえ、今後どのような対応、対策を考えておるのか町長にお伺ひしたいと思います。よろしくお願ひします。

○議長（伊藤福章君） 答弁を求めます。町長登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。

羽貫谷地地区水道への対策についてですが、新たな水源を求めまして9月に羽貫谷地と隣接する下畑屋地区に調査井戸を試掘しました。水量は十分でしたが、水質が悪い結果でした。そのため、11月に新たに羽貫谷地地区内に試掘をしましたが、これも水質はさきの試掘と大差なく、いずれにおいても残念ながら水源としては満足できるものではありませんでした。この結果を踏まえまして、今後は近隣の簡易水道に水源を頼ることが可能かどうか、近隣の水源調査を実施し、羽貫谷地地区の統合も視野に入れた検討を重ね、できるだけ早い時期にその方向性を決定してまいりたいと存じます。

以上をもちまして答弁を終わります。

○議長（伊藤福章君） 澁谷俊二君の再質問を許可します。

○14番（澁谷俊二君） 答弁どうもありがとうございました。ただいま早い時期に考えてと、こういうことでございました。

実は、この地区の水道については、美郷町の総合計画の中にもうたってございます。また、旧千畑町でも平成18年にはここを整備したいと、こういう計画があったそうでございます。本当に住民は今大変苦しんでおるところで、早期の実現を望んでおるところでございますけれども、もし、今ここで答弁できるのであれば、いつごろかも聞きたいと思っておりますけれども、またこのような問題はこの地区に限ったことではございませんので、上畑屋、あるいは七滝、いろいろあろうかと思っております。また未普及の地区もありますので、これらの水道事業を今後どのような見通しを持っておるのか、あわせてお伺いしたいと思います。

○議長（伊藤福章君） 答弁を求めます。町長。

○町長（松田知己君） 羽貫谷地地区の水道の見通しについてですが、まずは水源がないことにはその事業の具体性を明らかにすることができませんので、まずは水源の確保のための調査に努めてまいりたいということです。それが、確保できる見通しができた後に事業化がどういう形でできるのかを検討してまいりたいというふうに思います。

それから、町内における水道未普及地域については、17年度内にその水道の整備に向けた町の基本的な考え方、方針を取りまとめるつもりでありますので、年度いっぱいかけまして、今後未普及地域をどういう形で水道についての考え方を整理するかを議論いたしたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

○議長（伊藤福章君） 14番澁谷俊二君。

○14番（澁谷俊二君） 今水源をみつけると、こういうことでございましたけれども、今後も調査を続

けるつもりなのか、それとも、ほかの工法を考えるのか、その点について伺いたいと思います。

○議長（伊藤福章君） 答弁を求めます。町長。

○町長（松田知己君） 先ほど答弁させていただきましたが、近隣の水源、簡易水道の水源に頼ることができるかどうか、その水源調査を実施しまして、羽貫谷地地区の統合も視野に入れた検討を重ねるということですので、どうかご理解いただきたいと思います。（「以上で質問を終わります。」の声あり）

○議長（伊藤福章君） これで、14番澁谷俊二君の一般質問を終わります。